



公共工事等における新技術活用システム
事後評価結果通知書

国東整施企第45号
平成26年10月7日

洋翔建設株式会社 殿

国土交通省
東北地方整備局長



平成22年1月5日付けで申請のありました技術について、新技術活用評価会議における評価の結果を様式V-4のとおり通知します。なお、評価結果についてはNETISに掲載します。

記

1. 技術名称 : 斜面安全掘削工法 (SSD工法)
2. NETIS登録番号 : CG-090016
3. 評価結果 : 様式V-4のとおり

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日の翌日から起算して10日以内に整備局長あてに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行うことができます。

(提出先)

東北地方整備局
新技術活用評価会議事務局

公開版

活用効果評価結果

平成26年度

東北地方整備局 / 新技術活用評価会議

NEITS 情報	開発目標	省力化、経済性の向上、作業環境の向上																								
	新技術登録番号	CG-090016-A	区分	工法	有用な技術の位置づけ																					
	分類	土工 - 土工 - 掘削工																								
	新技術名	斜面安全掘削工法(SSD工法) (斜面掘削機(スプリングチャレンジャー)による高所・急斜面の掘削工法)																								
	比較する従来技術(従来工法)	人力掘削及び人力法面整形																								
	新技術の概要及び特徴	本技術は高所・急斜面の土工において、斜面掘削機(スプリングチャレンジャー)を使用する工法である。従来の土工では人力掘削もしくは作業構台を用いた機械掘削を行っていたが、本技術の活用により安全性の向上、工程短縮、コスト縮減が期待出来る。																								
活用効果評価	所見	従来技術に比べて活用の効果は優れている。 なお、下記の理由により、工程・品質出来形・安全性・施工性について従来技術より優れた評価を得ている。 ・工程：人力掘削と比較すると、工程短縮が計られた。 ・品質出来形：人力掘削施工では困難な転石・根株の除去が的確に行われ出来形が向上した。 ・安全性：機械化施工により高所作業が減り、安全性が向上した。 ・施工性：機械化施工により日当たり施工量が増加し施工性が向上した。 「特有用性を有している」技術である。																								
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較																								
	留意事項	・機械設置時及び施工計画書において、アンカー設置、ワイヤ・ウィンチ点検確認等、安全管理を入念に行う必要がある。																								
	活用効果調査表における改良点及び要望																									
活用効果調査結果	対象工事	1	防災工事	「中国地方整備局」(従来技術:人力掘削及び人力法面整形)												施工者希望型(契約後提案)	H21									
		2	林道付替え工事	「中国地方整備局」(従来技術:人力掘削及び人力法面整形)												施工者希望型(契約後提案)	H22									
		3	林道付替え工事	「中国地方整備局」(従来技術:人力掘削及び人力法面整形)												施工者希望型(契約後提案)	H23									
		4	法面工事	「中国地方整備局」(従来技術:人力掘削及び人力法面整形)												施工者希望型(契約後提案)	H23									
		5	山腹土工	「関東地方整備局」(従来技術:人力掘削及び人力法面整形)												発注者指定型	H25									
		6	道路防災工事	「九州地方整備局」(従来技術:人力掘削及び人力法面整形)												施工者希望型(契約後提案)	H25									
		7																								
		活用効果調査結果	ケース番号および年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)				
施工時評価	経済性	C	C	C	C	B	C													C	C					
	工程	B	B	A	B	A	B													B	C					
	品質・出来形	B	B	C	B	B	C													B	C					
	安全性	B	B	C	B	A	C													B	C					
	施工性	B	B	B	B	B	B													B	C					
	環境	C	C	C	B	B	C													C	C					
	その他	-	-	-	-	-	-													-	-					
総合評価点	B	B	C	B	B	C													B	C						
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後もし是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む	優位性における判定																					
					<table border="1"> <tr><td>A</td><td>従来技術より大幅に優れる</td></tr> <tr><td>B</td><td>従来技術より優れる</td></tr> <tr><td>C</td><td>従来技術と同等</td></tr> <tr><td>D</td><td>従来技術より劣る</td></tr> </table>														A	従来技術より大幅に優れる	B	従来技術より優れる	C	従来技術と同等	D	従来技術より劣る
A	従来技術より大幅に優れる																									
B	従来技術より優れる																									
C	従来技術と同等																									
D	従来技術より劣る																									
追跡調査の必要性	無し																									
追跡調査	-																									